



2011 ~ 2012 年度
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0801 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 亀井 孝	理事 近藤 賢司	役員 会 長 亀井 孝	S A A 木村きぬゑ
〳 高宮 勝美	〳 平野 英壽	副会長 高宮 勝美	直前会長 木村きぬゑ
〳 森 宗明	〳 津末美代子	幹 事 森園 伸也	
〳 村津 忠久		会 計 河村 貴雄	

VOL. 24-37
2012年4月10日

第1091回例会

会報委員長 大島由美子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 別府中央R.C.の歌
- ◆唱 歌 おぼろ月夜
- ◆B. G. M 「日本フィルできく
美しい日本のうた」より
浜辺の歌
夕焼小焼
叱られて 他

会長の時間 会長 亀井 孝

4/8の日曜日、25周年を迎えた「鶴見岳一気登山大会」が、天候に恵まれ、開催されました。境川河川敷では桜が満開、ロープウェイ広場は3分咲き位でしたが、晴天の中太陽の光を一杯浴びながらのウォーキングはとても健康的で楽しかったです。当日のように雲ひとつない晴天に恵まれると、それだけで何かしら幸せな気分になります。うつ病の症状には、季節や天候に影響を受けることがあるそうです。詳しくはわかりませんが、日照量にも関係があるそうです。光の刺激が目から脳に送られることで生産が促されるセトロンという神経伝達物質が脳の働きを活発にするそうですが、日照量の少ない冬期は生産が少なくなる為脳の働きが低下するのだそうです。朝8時くらいまでの日の光を目にすることが、ホルモンバランスをリセットするのに重要な働きをするという話しを読んだことがあります。春の晴天を見上げるとすがすがしい気持ちになるのは、気分だけでは

◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	16 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	2 名
出 席	欠 席 数	5 名
	出 席 率	72.73 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	66.67 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
	修 正 出 席 率	79.17 %
連 続		- 回
通 算		743 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後 河村 (別府北)
欠席 森、森園、大島、平野(英)、岐部
理事会承認 梶田
出席免除 溝部、鳴海

なく、そんな科学的な裏づけがあるのかもしれませんが。青空を見上げることは誰にも遠慮はいりません。この当たり前のようでありがたい環境を大いに享受していきましょう。中央ロータリークラブも、この素晴らしいイベントを支援していきたいと思います。



幹事報告

幹事 森園 伸也

—雑誌月間—

1. 本日の卓話
「会員卓話」衛藤秀子会員
2. 第10回定例理事・役員会報告
(平成24年4月3日(火) 18:00～
於：春香苑 8名)

審議事項

- 1) 2012学年度ロータリー米山奨学生世話クラブの承認及びカウンセラー選任の件。※承認 中尾 誠会員をカウンセラーに選任
*ホッセイン・モハマッド・イムランさん
(男性/1983年5月17日生28歳/国籍・バングラデシュ/立命館アジア太平洋大学・アジア太平洋研究科 修士2年)
- 2) 地区大会交通費支給の件。※承認
・5,000円×参加者(7名)
・15,000円×運転された方(2台)
- 3) 2011-2012年度「皆勤・精勤お祝い」の件。
※承認
※記念品は本人の希望する品
(昨年度は5,000円までクラブで負担)
・村津 忠久会員(H23年9月12日=25年)
・木村きぬゑ会員(H23年10月8日=15年)
・近藤 賢司会員(H23年3月2日=15年)
- 4) 4月・5月例会予定の確認
4月3日「花見例会」18:30～ 於：春香苑
10日「会員卓話」衛藤秀子会員
17日「会員卓話」堀 由美会員
24日「会員卓話」平野教康会員
5月1日「定款第6条第1節(C)に基づき休会」
8日「会員卓話」森園伸也会員
15日「会員卓話」梶田健治会員
22日「会員卓話」前田哲矢会員
29日「会員卓話」大島由美子会員
3. 米山記念奨学会より中尾 誠会員へ2012学年度米山奨学生カウンセラーとしての委嘱状が届いています。本日ご披露し、お渡しいたします。
4. 4月8日(日)8:30集合にて別府扇山ゴルフ倶楽部に於いて別府クラブホストにより、「別府市近隣7RC親睦ゴルフ大会」が開催されました。又、18:00～湯元旅館かなわ荘に場所を移し、懇親会を開催致しました。

団体の部：優勝 別府北RC 準優勝 別府RC 3位 別府中央RC
個人の部：当日賞 平野英壽会員、ニアピン賞(IN) 岐部光男会員
参加者：後藤隆、平野英壽、近藤賢司、岐部光男、河村貴雄、森園伸也 各会員

5. お祝い
結婚記念日 後藤 隆会員(4月13日)
※ご自宅にお花が届きます。
6. 例会変更のお知らせ
大分城西RC 4月18日(水)の例会は、創立22周年記念例会の為 同日18:30～大分オアシスホテルに時間変更
7. 次週例会の予定(*原稿をお願いいたします)。
「会員卓話」堀 由美会員
8. 本日の配布
①ガバナー月信No.10号
②ロータリーの友4月号
③週報 No.1089,1090

スマイルボックス

委員長 堀 由美

○亀井会長

べっぶ鶴見岳一気登山大会実行委員会会長梅野朋子様より、記念品代として金五千円をいただきましたのでスマイルとさせていただきます。

○村津会員

先週金曜日、「海軍兵学校77期九州総会別府大会」をホテル清風で開催、九州だけでなく関東・関西・中四国からも戦友が集まってくれました。皆に喜んでいただけました。

土曜日、「べっぶ鶴見岳一気登山25周年記念の集い」をビーコンプラザフィルハーモニアホールで開催し、アトラクションのコーラス・落語・講演、全て好演好評でした。

同日夜、亀の井ホテルでの記念レセプションも市長さんを始め117名の方々にお集まりいただき盛会でした。

8日・日曜日の一気登山大会は快晴に恵まれ、3500人超の参加者に楽しんでいただきました。感謝・感謝・感謝でスマイル。

○大江会員

衛藤会員の卓話、楽しみにしていました。頑張ってください。

○後藤会員

先日4月8日ゴルフコンペ後の懇親会のあと、近藤会員と共に鉄輪地区と原地区の経済活性化に貢献してきました。楽しかった！

○近藤会員

先日のゴルフ大会は天気にも恵まれ、楽しくゴルフができました。夜の親睦会の後、鉄輪の夜の町にくり出したら、これが鉄輪だと言わんばかりの店で仮面をかぶせられ、つついフィーバーしてしまいました。チョー楽しかった。

○平野(英)会員

今日は衛藤さんの大事な卓話を聞けなくて大変申し訳ありません。

○河村会員

週報がだいぶ溜まってしまいました。お詫びにスマイル。

○衛藤会員

今日は私の卓話の日です。ドキドキしています。30分はもたないと思います。皆さん助けてくださいね。

○梶原会員

近藤さん、土曜日はありがとうございました。お時間のある時またお願いします。

○平野(教)会員

一気登山、一族5人で元気良く登りました。達成の喜びは格別でした。ただし、僕だけはロープウェー登山口で終わり。冷たい眼差しにスマイル。

○中尾会員

ロータリーの花見に続き、先週末、友人達の夜の花見を別府公園でしました。寒くて寒くて、飲むしか温まる手段がなく、皆飲み過ぎました。

○堀会員

本日は、欠席仲間の中尾会員、梶原会員が出席してくれて『ホッ』としています。しかもスマイルしてくれてありがとう。

○森園会員

先般、ゴルフ大会があり皆様頑張って商品(5000円)をいただきました。スコアはそれぞれに聞いてください。

今度は優勝目指すぞ！スマイル。

○森会員

昨日から福島に出張しています。例会欠席をお詫びしてスマイルいたします。

卓 話

衛藤 秀子

みなさん「こんにちは」。

毎度のことながら、卓話の時間に何を話そうかと悩みます。

今日は別府の古い道、豊前街道のほんの一部分と流川通りの歴史散歩をしてみたいと思います。

そもそも豊前街道とは豊前門司(大里)から中津、宇佐、山香を経て、別府(横灘)を通り、銭瓶峠を経て庄内に至る道のことです。今日はこのうちの別府駅前通りから流川通りまでを、途中の史跡を見ながら進みます。先ず、駅前の伊予銀行の角の信号を流川へ向かって渡り、5分位進みますと浄土真宗のお寺、西法寺が右手に見えて来ます。このお寺についてはみなさんにお配りしたプリントを読んで下さい。

この辺りからが昔の別府の町の中心でした。明治時代には馬車が通っていたそうです。お寺の前には駐車場があり北側には郵便局があったと伝えられています。この西方寺を過ぎると、右手に別府の庄屋堀家(のちの米屋旅館、現在はわかあゆスイミング)があり、それを過ぎると流川通りに出ます。

この四つ角は現在、日名子センチュリー、マルシヨク駐車場、西日本銀行などとなっていますが、



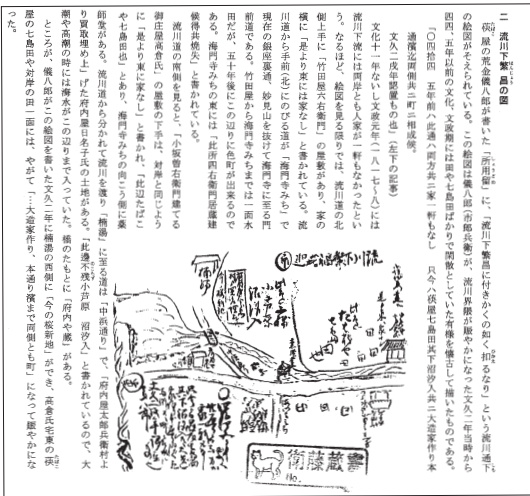
当時は庄屋高倉家がありマルシヨク駐車場のあたりは高札場でした。現在ここには伊能忠敬の測量跡の碑が建っています。

では、流川についてちょっとお話しします。現在の流川通りは大正の始め頃出来たものです。川は暗きよになっています。それまでは、不老町の旧村橋病院の方から流れて来て川幅も2mか3m位のもので、川は南側（マルシヨク側）を流れ、ところどころに木の橋を架けて渡っていたようです。周りには人家はほとんどなく畑でした。そして川は現在の菊家の横から右に入り、鳴海先生のお宅の前を通過して現在のゆめタウンのところに流れ出てました。この川の一部が現在も鳴海先生のお宅の前の白水館の庭で見ることが出来ます。

では、川はこの位にして、現在の流川通りは先に述べた様に、大正時代になって拡幅され真っ直ぐになりました。旅館、商店が建ち並び、別府一の繁華街となり、文人墨客をはじめ多くの旅行者が訪れるようになりました。中でも浜脇の遊郭からの帰りの客が別れを惜しんで流川を渡った橋が名残橋。この標柱が現在菊家の角に立っています。この橋が有名になったのは、戦後、夫婦ぜんざいの作者織田作之助の小説からです。この橋を渡った先に若松屋と言う旅館がありました。ここに長

州山口出身の井上聞多（のちの井上馨外相）が政敵に斬り付けられ、その傷を治す為にかくまわれ、すぐ近くの楠温泉で傷を治したお話は有名です。その時の部屋が現在中央公民館のそばに移築された「千辛万苦の場」の建物です。

流川界隈のお話はまだまだ沢山ありますが、今日はこの位で。本当に皆さん私のまち歩きに付き合って下さってありがとうございました。どうぞ皆さんもお住まいの周りの史跡探訪をなさってみては如何ですか。



西法寺

旧国道を駅前通りから流川方面に進むと、五分程で中央町右手の西法寺に到達する。永正四年（一五〇七）に釈す意が阿弥陀仏絵像（開基仏）を請けて、草庵を造ったのが始まりという。次いで慶長一六年（一六〇九）、本山より、現存する木彫阿弥陀如来と「西法寺」の寺号を請けた。現存する様式は宝暦八年（一七五八）に建立され、その後、大鐘が鋳造され標門に安置された。本堂は寛政九年（一七九七）に創建されたものである。

第一三世釈宗謙が日田の威宣院に学び広瀬淡窓と師弟関係にあったことから淡窓は同寺に二回宿泊し、蘭谷に詩を贈っている。山門より東に下る道は、西法寺道と呼ばれ昔は参道であった。



寺院の周辺は、当時の別府の中心街で、明治時代には寺の前あたりは馬車の停車場があり、隣には郵便局があったと伝えられている。現在の「わかあゆヌイミング教室」のある場所には庄屋堀家（後の米屋旅館）があり、さらに進んで流川を渡りマルシヨクの駐車場のある付近は高倉庄屋が渡り、そばには高札場があったとい。現在は、伊能忠敬の測量跡の碑がある。なお、当時の流川は川巾も二三メートル位の薄の川で村橋病院のあたりから南東に流れて来て現在も楠湯や春湯を見ながら楠港へと流れている。途中マルシヨクと菊家のあたりに名残橋があった。

流川と高札場跡



別府の流川と云えば、別府の玄関別府港、地獄廻りのバスの発着場、銀座などの繁華街を結ぶ別府観光の中心地として有名であった。この流川界隈に人家が立ち並ぶようになるのは江戸時代末期の一九世紀の後半のことである。広瀬淡窓が「別府は浜脇に接し、商舶来泊の港にして且温泉あり、人家数千繁華の境なり、昔棧（遊郭）あり」（懐旧楼筆記）と記したのもこのころである。

流川の呼称は、この道につかず離れずの形で流れていた小河川由来し、河口は関西汽船の発着した旧別府橋南側にあった。浴客の出入りでは幾つかの橋がかかっていたが、その一つが名残橋で、遊郭の帰りに名残を惜しんだことから名付けられたとい、その石柱が橋のあったと想定される流れ川

このはまた伊能忠敬が幕府の命により、日本地図作成のため全国を測量した際、文化七年（一八二〇）、別府測量の基点とした場所でもあった。なお、このあたりは、当時の別府村の中心地であったと伝えられている。



伊能忠敬測量史蹟